



崎山小児科・院内報

●Kero Kero通信●

11月

2017年

第224号



反発する力

国や地域など大勢に人々が含まれる集団がある一方で、家族、学級、職場など比較的人数の少ない集団もあります。野球観戦の目的で球場に来た人、たまたま同じバスに乗り合わせた人など普段は顔見知りではないけれど、時と場所によって一括（ひとくく）りにできる集団、親族のように血縁で繋がっている集団、人が集団を構成する種類は数多く、一人の人間は常に複数の集団に属しています。

複数の人が集まれば、それぞれの考え方は様々です。自分が好きなアーティストのライブで一緒になった人であっても、好みの曲は違うかもしれません。オリンピックで声を合わせて日本チームを応援する日本人同士であっても、国政選挙となると敵味方に分かれてしまうこともあります。

どのような集団であっても、仲良く、楽しく過ごしている瞬間もあるでしょうけれど、思い通りにならないことをきっかけとして喧嘩をすることもあります。相手を見做す、関わらないという形で仲違いをすることもあるでしょう。人が集まって生きている社会では、他人を拒否する、受け入れたくない、自分の言い分を通したいという気持ちを抱くことは不思議なことではなく、誰にでもあることです。こうなると、「あばたもえくぼ」だった関係が「坊主憎けりや袈裟まで憎い」とばかりに、本来無関係のものまで敵対することもあります。初めに思い通りにならなかった事実が何であったかを通り越して、憎い、悔しい、妬み、嫉み、猜疑心、嫌悪などの感情が相手を攻撃するに至ります。家族のように仲が良いほど攻撃する反発力も強くなるようです。

この反発力にどのように対応するか。一旦渦を巻いた感情はなかなか立ち消えることはないでしょう。感情任せの行動が好ましくないことは伝えながらも、まずはそのような感情に至ったことは否定せず、共感することがよいでしょう。反発力も抑え込もうとするのではなく、本人と周囲の人を含む集団にとって好ましい形に変換することを考えてみてはいかがでしょうか。モーターの推進力が磁石の反発力を利用しているように、考えようによってはお互いがよりよい方向に進む原動力になるかもしれません。

秋の夜長にワクワク絵本



今回は当院のスタッフに人気のある絵本を紹介したいと思います。島田ゆかさん作『バムとケロ』シリーズ。大人でも夢中になれる楽しい作品です。ページ面に広がるカラフルで楽しい色使いとユーモア溢れるたくさんのキャラクターが魅力です。眺めているだけでも楽しい気分になります。隅から隅までよく見ていくと1つ1つのキャラクターに合わせた趣向を凝らした家具や道具などたくさんの細工が盛り込まれていてページをめくるたびにワクワクします。

さらには1冊だけでは終わらないシリーズだからこその仕掛けも。バムケロシリーズ1作目の「バムとケロのにちようび」で日曜日始まり、2作目の「バムとケロのそらのたび」では冒頭げつようびのあさで始まっています。3作目「バムとケロのさむいあさ」ではかようびのあさと物語の曜日が続いているのです。また「バムとケロのさむいあさ」に出てくるねずみのマウは必需品のやかんを凍った池の中に失くしてしまうのですが、次作の「バムとケロのおかいもの」で新しいやかんを市場で購入しています。部屋に飾られている写真も実は風景が変化しています。このようにバムとケロシリーズにはたくさんの仕掛けが隠されています。みなさんも親子で一緒に絵本を広げてどんな仕掛けが隠されているのか探してみてもいいのではないでしょうか。今まで読んでいたけれど発見していなかったできごとに気づくかもしれません。いたずら好きのケロちゃんがどんないたずらを繰り広げているのか追ってみていくのも楽しいです。

崎山小児科の待合室にも「バムとケロのもりのこや」が置いてあるのでぜひ手に取ってみてください。

そういえば、ケロちゃんってよく見てみると・・・あれ？誰かに似ていませんか？

●●今月のケロケロひろば●●

11月16日(木) 14:30~15:30

(待合室開放時間 14:00~16:00)

福岡かほる先生(崎山小児科:木曜または金曜担当)

「こどものかぜとくすりのおはなし」

*予約制です。保育をご希望の方は予約時にお伝えください。